

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• •

| | |
|------------------|---|
| 1. 負傷事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット事例 |
| 2. 体験した事例の名称 | 海岸（岩場）で発生した水難事故現場で、救助活動中に転倒しそうになった |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 海面に浮遊している要救助者を岩場上へ救助する際、打ち寄せる高波で足元の岩場がぬれて滑りやすくなっていたため、身体のバランスを崩し転倒しそうになったもの |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 晴天であっても、高波が打ち寄せる岩場では、海水と海草等で非常に滑りい状態であるが、これに対する救助靴の性能を十分把握していなかった |

【体験した事例の直接的原因について】

• •

| | |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。 |
|------------------|--------------|

【体験した事例について】

• •

| | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 15 年 11 月 23 日 午後 3 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：海岸の岩場 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | 転倒、 |
| 7. 事例体験時の活動 | 救助、 [] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | 救出準備作業、 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 数年に 1 度程度の割合で体験している。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[42]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24]年、階級[消防司令補]、同様の活動[],任務[車長] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[],同様の活動[],任務[] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[],同様の活動[],任務[] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|-------------|----------|
| 経過1 | A | 岩場で滑りそうになった | |
| 経過2 | | | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

• •

○負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった

| | |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | はい |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 狹隘な場所であった。 | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|--------------------|-----|
| ・ 足元が躊躇したり滑りやすかった。 | はい |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

救出状況図

